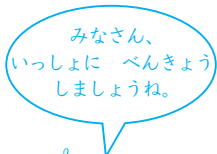


令和
8
年度

いよばのちまり5



愛知教育文化振興会
三河教育研究会



ことばのきまり
イメージキャラクター
ことちゃん

表紙 岡崎
カッ ト 幸 田
みよし
浅井 先生
成田 先生
嶋田 先生
大須賀 先生
吉田 祐示 先生

目次

一 敬語 ^{けいご}	1
二 漢字の成り立ち.....	5
三 いにしえの言葉に親しむ.....	12
四 思考に関わる言葉.....	16
五 どうやって文をつなげる.....	18
六 熟語 ^{じゆく} の構成 ^{こうせい} と意味.....	19
七 和語、漢語、外来語.....	20
八 日本語と外国語.....	26
九 方言と共通語.....	27





一 敬語

【教科書 P42～P43】

・ 先生がいらっしゃる。

このように、人に敬意を表した
次のような種類があります。

① 「いらっしゃる」の代わりに、
敬意を表す言い方。

② 「申しあげる」のように、
に敬意を表す言い方。

③ 話す相手に対して事がらをていねい
に言う言い方。

・ 長に申しあげ
てい、言ったりするときの言い方を敬語といいます。敬語には、

話す相手や、話題
なっている人の動作などを高めることで、その人に

尊敬語

自分の身内の動作を低める、話す相手や話題になっている人

……… けんじよう語

……… ていねい語

尊敬語

(一) 次の文中の――の言葉を尊敬語に直しましょう。左の………に記号を書きましょう。

1 おばさんが人形をくれた。

()

2 校長先生が話をした。

()

3 お医者様が言ったこと。

()

4 お客さんが帰った。

()

5 今日、家に先生が来る。

()

6 客室の長が来るおかし。

()

ア おっしゃった

イ いらっしゃる

ウ しあげる

エ くださった

オ される

カ お帰りになった



(二) 次にあげる言葉を「…れる」「…られる」を使って尊敬語にしましょう。

1 話す ()

2 持つ ()

3 立つ ()

4 見る ()

けんじょう語

(一) 次の文の敬語の使い方が正しいか、間違いを教えてください。

1 () 父が、明日学校にいらつしやうと申ししていました。

2 () 市長が式典で話をする。

() 父が、明日学校にいらつしやうと申ししていました。市長が式典でお話しになる。

(二) 次の文中の——の言葉を、「お(ご)……します」「……うけん……」に書きましよう。

1 父が、駅まで送ります。

2 わたしが、部屋まで案内します。



(三) 次の文中の――の言葉をけんばう語に直しましょう。左の□から選んで、()に書きましょう。

1 弟が、明日行きます。()

3 校長先生の絵を見る。()

5 そのことでした。()

申しあげる いただきます ありがとうございます 聞いています 持ちます 持っていきま ばく 持っています きのう、買った。 きのう、買った物に 行った。() ()

ていねい語

(一) 次の言い方は、どちらがていねいで、どちらがていねいではないか。()の中に○を付けましょう。



(二) 次の文章の――の言葉を、自分がかいたようにかいた場合にあつたていねいな言い方に直して、()に書きましょう。

ぼくの名前は、田中修だ。おきむ名屋かたは三人兄弟だ。兄と弟がいる。兄は六年生、弟は三年生だ。名古屋の学校で入っていたクラブはサッカー部だ。ぼくの特技はリキティングだ。今は連続百回できるように練習をしてきた。みんなに見せたいと思う。これからよくおねがいする。

大勢おおぜいの人の前で話すときは、相手あいてを思いやる気持ちで使ったていねいな言い方をしよう。



見てみよう



文化庁
「敬語おもしろ相談室」



二 漢字の成り立ち

【教
P04
P65】



どんな漢字ができるでしょう。



()



()



()

(一) 次の形からできた漢字は何か。下の□の中から選べ。



()



()



()



()

魚 火 鳥 子



()



()



()



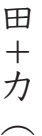
()

下 本 三 天

(二) 次の二つの文字の組み合わせから、どんな漢字ができるでしょう。下の□の中から選びましょう。



()



()



()



()

岩 男 鳴 畑



()



()



()



()

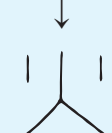
球 板 晴 想





漢字の成り立ちには、主なものと、次のようなものがあります。

① 象形文字……具体的な物の形を模倣して書かれた文字



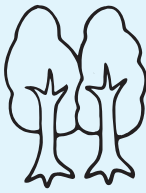
口 耳 手 足 子
水 鳥 馬 など

② 指事文字……具体的な形を模倣して、点や線などで表した文字



上 下 本 中 三
天 など

③ 会意文字……二つ以上の漢字を組み合わせて、新しい意味を表した文字



木と木で→林



山と石を合わせて→岩

森 取 言 知 明
燭 など

④ 形声文字……音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせて作った文字

意味 ↓



↑ 音
(カ)

(キ) 音 ↓

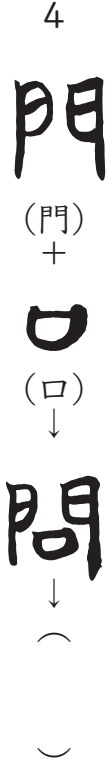


↑ 意味

漢字の大半は、この方法で作られています。



(三) 今の漢字にすると、どんな漢字になるでしょう。



(四) 次の1〜4に分類される漢字を選び、□に書き入れましょう。

1 象形文字

指事文字

3 会意文字

形声文字

二 働 上 鳥 休 時 明 川

の中から

挑戦してみよう



「どんな漢字になるのかな」





形声文字は次のような文字の組み合わせになっています。

音

形声文字

青^{セイ} + 音

○ 音を表す部分について考えてみましょう

・ 字の右側が音を表すもの

・ 字の左側が音を表すもの

・ 字の上半分が音を表すもの

・ 字の下半分が音を表すもの

・ その他

○ 意味を表す部分について考えてみましょう

・ シ(さんずい)は、水の流れる形と水を表し、水や液体(えきたい)の文字となります。

・ 水(他の字と合わさるときはシの形)は、水や液体(えきたい)の文字となります。

・ 手(てへん)は、五本の指と手のひらを開いた形(てのひら)を表し、動作(どうさ)の文字となります。

・ 手(他の字と合わさるときはシの形)は、動作(どうさ)の文字となります。

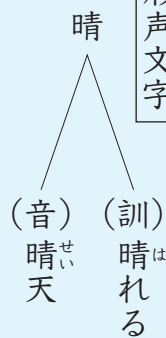
・ 貝(かい、かいへん)は、二つにわかれる二枚貝(にまいがい)の形(かたち)を表し、宝(たから)の文字となります。

・ 貝(かい、かいへん)は、二つにわかれる二枚貝(にまいがい)の形(かたち)を表し、宝(たから)の文字となります。

・ お金や財産(おかいざい)、ねうちのあたるたからものなどに関係(かんけい)する文字(もじ)となります。

・ 心(こころ、りっしんべん)は、心臓(しんぞう)の形を表したもので、感情(かんじ)の文字(もじ)となります。

・ 心(他の字と合わさるときはシの形にもない)は、感情(かんじ)の文字(もじ)となります。



参考にしよう



ちびむすドリル
「漢字の成り立ち」





多くの漢字は、音を表す部分と意

を表す部分に

て組み立てられている形声文字です。

音 + 意味

・会^{カイ}
+ 糸
↓

・非^ヒ
+ 心
↓
悲^ヒ

・周^{シュウ}
+ 辶
↓
週^{シュウ}

音 + 意味

・古^コ
+ 口
↓
古^コ

・草^{ソウ}
+ 艹
↓
草^{ソウ}

・古^コ
+ 口
↓
古^コ

(五) 次の二つの部分を組み合わせ、漢字を作りましょう。

1 責 + 禾 ↓ ()

3 九 + 穴 ↓ ()

5 門 + 口 ↓ ()

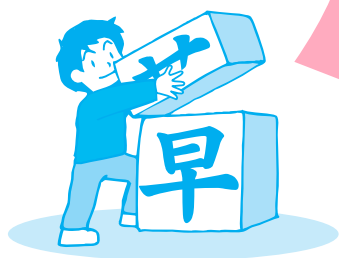
7 昭 + 灬 ↓ ()

2 十 + 口 ↓ ()

4 受 + 心 ↓ ()

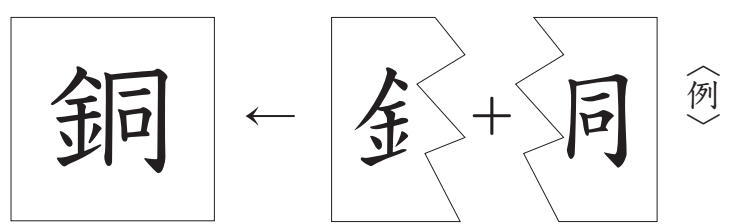
6 永 + 冫 ↓ ()

8 井 + 口 ↓ ()



(六) 左の円の中の「意味を表す部分」と「音を表す部分」とを組み合わせて、漢字を作りましょう。

同じ部分を何度使ってもかまいません。

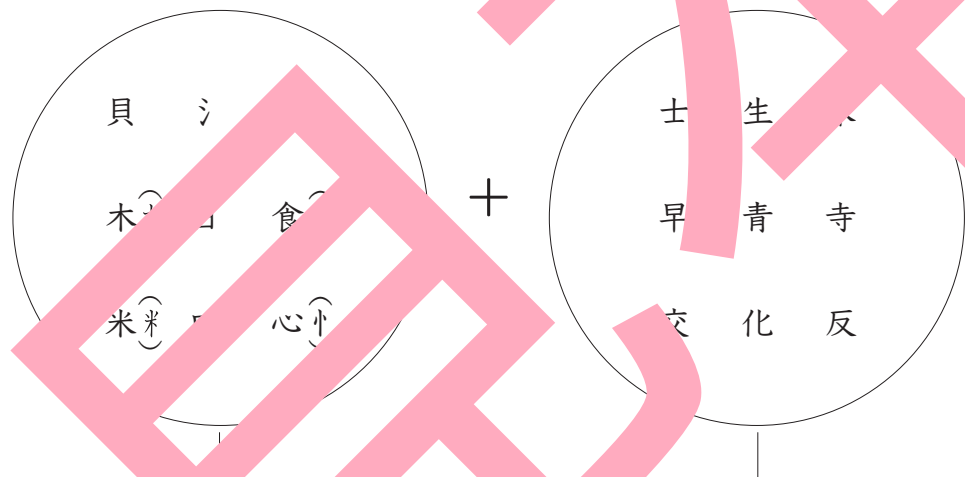


「金^{きんぞく}属」に関する意味 (ドウ)



<意味を表す部分>

<音を表す部分>





(七) 上と下とを組み合わせると、色々な漢字ができるでしょう。できた漢字を使って熟語(じゆく)を完成させましょう。



(八) 同じ部首の漢字を集めてみましょう。何に関係があるのか、どう結びつくでしょう。

- | | |
|---|----------|
| 1 | 言 (ごんべん) |
| 2 | シ (さんずい) |
| 3 | 心 (こころ) |
-
- | | | |
|-------|-------|-------|
| _____ | _____ | _____ |
| _____ | _____ | _____ |
| _____ | _____ | _____ |
| _____ | _____ | _____ |
| _____ | _____ | _____ |
-
- 言葉に関するもの
 - 人の気持ちに関するもの
 - 関係があるもの





三 いにしへの言葉に親し
う・いにしへの人のえがく世界
【教科書 P66 ~ P71
P210 ~ P213

日本には、「竹取物語」のように古くから今日こんにちまで、長い間親しまれてきたたくさんの方の文章があります。

昔の言葉に使われているかな？
いいは、
ものとはことなるところがあるので、次のように書いて

「は、ひ、ふ、へ、ほ」(語)
ある語
「う、え、お」
「ゐ、ゑ」↓「い、え」

「む」
↓
「ん」

「ち」
↓
「づ」
↓
「ず」

「しう」
↓
「しゅう」

(一) 次の文で使われている昔のかなづかいを、現代のかなづかいに直せ。

〔例〕 かき食~~え~~ば かねが鳴るなり 法隆寺ほつりゅうじ

今は昔、竹取のおきなといふ者ありけり。
甲にまじへて竹をすくひつづきつづのことに使ひけり
名をば、さぬきのみやつことなむいひける。

その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしうて見るに、つつの中光りたり。

それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうてゐたり。（『竹取物語』より）



(二) 次の——の言葉の意味を
の中から選んで、記号で書きましょう。

1 竹取のおきな

2 よろづのことに使ひけり

3 あやしがりて、害を見る

4 いうつくしうてゐた

ア 不思議に思つて

イ おじいさん

ウ たいへん

エ いろいろなこと

(三) 次の——の言葉の意味を、
の中から選んで、() に書きましょう。

つれづれなるままに、

() まま、

日暮らし、すずりに向かひて、

() 、すずりに向かつて

心にうつりゆく

心に ()

よしなしごとを、そこはかとなく書きつくれば、

() ことを、何という当て

あやしうこそものぐるほしけれ。

() 変な感じがしてくることです。

今と昔で意味がことなる
言葉があります。



(六)

次の——の言葉の意味を、あ

から選んで書きましょう。

1 春はあけぼの。

↓春は（

2 やうやう白くなく、ゆく山際、

し明か

紫だちたる雲の細くたなびきたる。

↓（

細くたなびいている様

と白

いく山

ぐ上の空が、少し明るくなって、

紫がかった雲が

3 雨など降るもをかし。

↓雨などがふるのも（

）。

4 からすの寝所へ行くとして、

三つ四つ

三つなど飛び急

さへあは

り。

↓からすがねぐらへ帰ろうと、三つ四つ、二つ三つと急

飛

様子も

（

5 冬はつとめて。

↓冬は（

）。

6 火桶の火も、白き灰がちになりてわろし。

↓火ばちの炭火も、白く灰をかぶってしまつて（

）。

早朝

明け方

だんだん

よい

みっともない

じみと心ひかれる

見てみよう



NHK for School

おはなしのくにクラシック
「枕草子（清少納言）」



四 思考に関わる言葉

書 P90～P91

次の①～③の文にはどんなちが

①雨がふるだろう。

②雨がふるかもしれない。

③雨がふるはずだ。

「雨がふる」と判断する度合
は②となります。

「だろう」や「かもしれない」
次の④～⑥の文について考えましょ

④雨がふると予想する。

⑤雨がふると仮定する。

⑥雨がふると断定する。

④の「予想する」→これから起こることを前

(※データなどにもとづいてはかゝる場合は「推測」も使われる。)

⑤の「仮定する」→事実かどうかに関係なく仮にそ

(※状況や条件などを仮に考える場合は「想定」を使う。)

⑥の「断定する」→証拠などによってはっきりと判断する

このように述語で判断のちがいを表すこともできます。

(一) 次の「思考に関わる言葉」を使って短い文を作りましょう。

1 「〜だろう」

()

2 「〜見通した」

()

3 「可能性が高い」

()

(二) 次の「思考に関わる言葉」の意味を国語辞典を使って調べよう。

1 「すい理する」

()

2 「連想する」

()

3 「考察する」

()



五 どうやって文をつなぐ？

【教科書 P146～P147】

サッカーの試合でミスをしたの、先生がよくがんばったとほめてくれたから、先生はうれしかった。

なんだか分かりにくく感じます。

そこで、言いたいことをつづらねてみます。

① サッカーの試合でミス

② 負けてしまった。

③ 楽しくなかった。

④ 先生がよくがんばったとほめてくれた。

⑤ とてもうれしかった。

①～⑤をどのようにつなげれば分かりやすくなるのでしょうか。

①②④は事実

③と⑤は反対の意味

①は②の

②は③の 原因や理由になっている。

④は⑤の

「関係が分かる言葉」を選んで文をつないでみましょう。

★つなぐ後の関係が分かるように、適切な言葉を選んでつなぐよ。
★つなぐ言葉を入れないほうがすっきりすることもあるよ。





書
P170
S
P171
┌

(一) 次の熟語の意味が分かるように、例にならつ

6





熟語^{じゆく}の構成をまとめてみると次のようになります。

- ① いた意味を表す漢字を組み合^あわせたもの……「増加」(増えると加える)
- ② 意味が対^{たい}になる漢字を組み合^あわせたもの……「強弱」(強↓弱)
- ③ 主語・述語の関係^{かんけい}によってなるもの……「国立」(国が立てる)
- ④ 上の漢字の意味が下の漢字の意味を打ち消^うすもの……「冷水」(冷たい水)
- ⑤ 上の漢字が動作を、下の漢字がその対象を表すもの……「作文」(文を作ること)
- ⑥ 上の漢字が下の漢字の意味を打ち消^うしているもの……「不足」(足りないこと)

(二) 次の漢字と意味がにている漢字を、

の中からさばって作りましょう。

救

2

衣

3

学

競

決

6

生

7

通

8

禁

豊

10

集

止 助 定 服 習 産 行 合 富



(三) 次の漢字と意味が対になる漢字を組み合わせて、熟語を作りました。

6	終	1	遠
7	月	2	売
8	苦	3	大
9	姉	4	左
10	勝	5	内

(四) 次の熟語の構成を、
の中から選んで、番号で書きましょう。

- ① 意味が対になる
② 意味が対になる
③ 主語・述語の関係
④ 上が下を修飾
⑤ 上が動作を、下がその対象を表す
⑥ 上が動作を、下がその対象を表す

- 1 道路 ()
2 点火 ()
3 水 ()
4 前後 ()
5 無礼 ()
6 青空 ()
7 未定 ()
8 鳴 ()
9 身体 ()
10 往復 ()





熟語には、同じ読み方で意味に注意して使い分けます。

がうものがあります。同じ読み方の熟語は、漢字の表す意味のちが

(五) () に入る漢字を

1 はっそう

① () を ()

② 彼は ()

ら選び、で書きましょう。

2 しょうひん

① 店頭 ()

() を並べる。

② 一等の ()

() は温泉旅行だ。

ア 発送

イ 登

ア 賞

イ 商品

3 こうさく

① 図画 ()

() の ()。

② 田畑を ()

() する。

4 しょうこう

世界の ()

() が増え続ける。

② ()

() 衛星を打ち上げる。

ア 耕作

イ 工作

ア 人工

イ ロ

5 きょうりよく

① エンジンを ()

() にする。

② みんなで ()

() して完成した。

6 かいとう

① () 食品を ()

() する。

() () 用紙を配る。

ア 強力

イ 協力

ア 回答

イ 解答

ウ 解凍

③ アンケートに () する。





漢字は同じでも、読み方によってちがう言葉になる熟語もあります。例えば、「ふうしゃ」と、「かざぐるま」は、漢字で書くとどち、
「車」となます。

(六) 次の熟語は、読み方によってちがう言葉になります。それぞれの言葉を使った文を作りましょう。

1 金星

読み（

）

文（

）

読み（

）

）

2 見物

読み（

）

文（

）

読み（

）

文（

）

3 色紙

読み（

）

文（

）

読み（

）

文（

）



七 和語、漢語、外来語

教科書
P176
～
P177



「昼食」と「昼飯」に読みがなを
（ ）
（ ）
昼 食
昼 飯

「昼食」は音^{おん}だけで読ま
で読めます。このように、
れている語のうち、「昼食^{ようしき}」のよう^{ようしき}にだけ読まれ
る語を漢語といいます。「昼飯」のよう^{ようはん}にだけ読まれ
読まれる語を和語といいます。漢語は、古い時代に
中国から日本に入ってきた言葉で、和語はもともと
日本にあった言葉です。ただし、音読みと訓読みが
組み合わさった言葉も存在します。

漢語は音読みで、
和語は訓読みなんだね。



挑戦してみよう



あすなろ学習
「和語・漢語・外来語に
親しむ」

(一) 次の語の読みがなを書きましょう。また、
漢語には1、和語には2をへゝの中に
書きましょう。

7 ()	3 ()	1 ()
月 見	貿 易	学 校
へ	へ	へ
8 ()	4 ()	2 ()
休 日	開 店	花 火
へ	へ	へ
へ	へ	へ

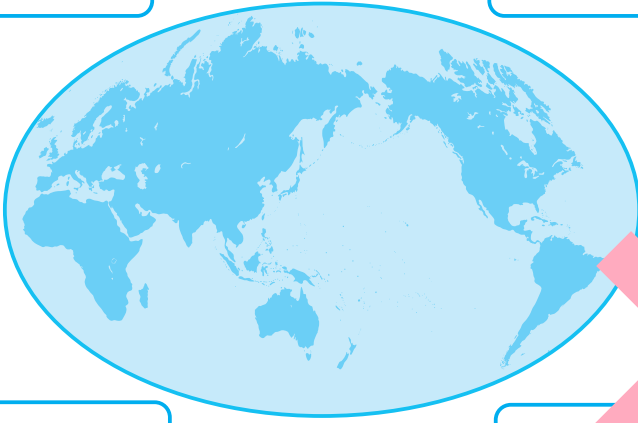




ドイツ語
ガーゼ

フランス語
マヨネーズ

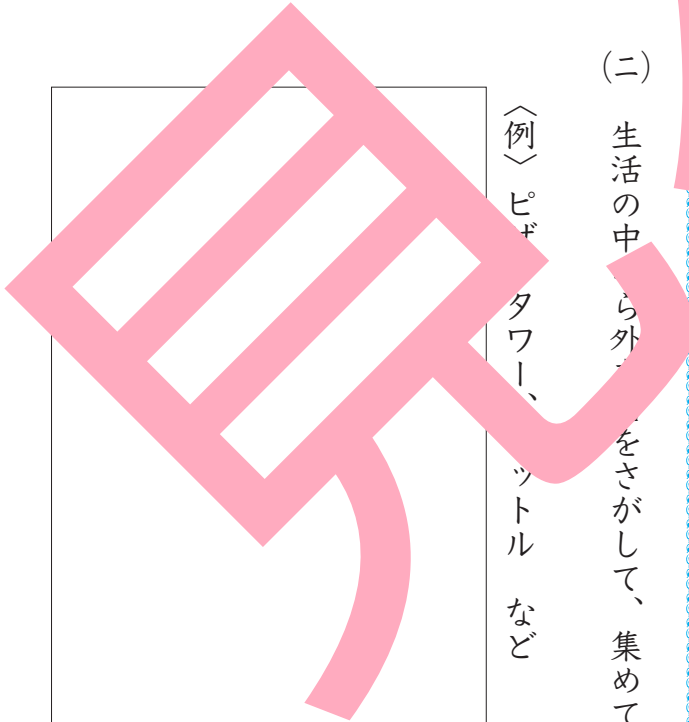
英語
カメラ



ポルトガル語
カステラ

オランダ語
ガラス

イタリア語
ピザ



わたしたちの生活の中にある「カステラ」「カメラ」「ピザ」などの外国語は、世界から取り入れられた言葉です。これらの言葉は、私たちの生活に欠かせないものになっています。また、これらの言葉は、外国の文化と一緒に入ってきました。古いものは四百年もの間、使い続けられています。

(二) 生活の中から外国語をさがして、集めてみましょう。

〈例〉ピザ、タワー、リットル など





八 日本語と外国語

世界には様々な言葉があります。日本語と外国語を比べてみると、日本語にはどんな特徴があるのでしょうか。英語と比べると次のようになります。

① 音と文字との関係

日本語をローマ字で表すと、

e・o」という母音と、

いう子音の組み合わせにな

は、「あ・い・う・え・お」と「ん」のぞくと、

母音と子音の組み合わせによる音を表します。そ

のため、例えば「いるか」という言葉には、「い・

る・か」という、文字に対応した三つの音のかた

まりがあります。

一方、英語は、「a・b・c」というアルファ

ベットを使って書き表されます。しかし、日本語

とはちがいで、アルファベットを一つずつ読むだけ

では言葉にはなりません。また、一つの文字を二

つ以上の音で読むこともあります。

② 文の組み立てと語順

日本語と英語では、語順が違います。

日本語では、述語の形によって文全体の表す意味が伝わることができます。

わたしは野球が好きです。

I like baseball.

これはあなたの本です。

This is your book.

これはあなたの本ですか？

Is this your book?

例

わたしは昼食をとる。

I eat lunch.

(1) (3) (2)

① わたしは英語を勉強する。

I study English.

() () ()

② わたしは一つ()大きなハンバーガーを食べる

I eat a big burger.

() () ()

③ かい()泳ぐ()こがで()か()？

Can he swim?

() () ()

(二)

次の英文を日本語にした場合、読みかたを()に書きましょう。

①

【日本語】犬

inu



【英語】()

【日本語】テニス

tenisu

【英語】tennis

③

【日本語】レストラン

()



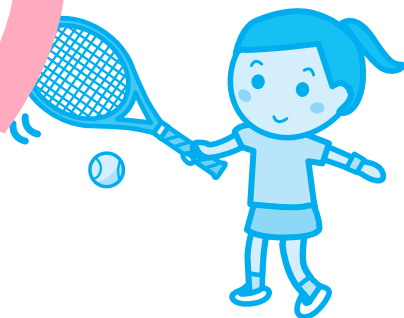
【英語】restaurant

(一)

次の()

にあてはまる言葉

やアルファベットを書きましょう。





九 方言と共通語

「おばあちゃん、ぼくもあんなにうれしいわ。もうすぐたん生（ちい）日（ひ）だら。」
「ほかの子をけなるがとつちやん。プレゼントももらってじやん。」

あなたの身近に、こんな言葉話（は）はいませんか。それぞれの地域（ちい）で、伝統的に使われてきた言葉や言い方を方言と言います。三河（みかわ）地方の方言では、「うですね」という意味の「じゃん」や「だら」、味の「りん」という言い方が有名です。でも「うです」という意味の「りん」ともよく使われました。「ど長い」（とても長い）「どうまい」（とてもうまい）などです。

日本は小さい国ですが、昔の人々は自由に交流をすることができ、言葉が生まれてきました。そのため、地方ごとに言葉が変化していき、それぞれの地域（ちい）に使われ、どの地域（ちい）の人たちにも通じる言葉が生まれてきました。これが共通語（きょうつうご）です。全国的に使われ、どの地域（ちい）の人たちにも通じる言葉が共通語（きょうつうご）です。現在（いま）は、ほとんどの人が共通語（きょうつうご）を聞いて生活していますので、日本中どこへ行っても、だれでも共通語（きょうつうご）が通じるようになります。方言も共通語も、わたしたちの生活に欠かせない大切な言葉なのです。



(一) 次の言葉は、いろいろな地域の言葉です。同じことを表していますが、何のことか分かりますか。

デーロ (長野県など)

マイマイ (静岡県など)

デンデンムシ (近畿地方)

ツブラメ (鹿児島県など)

メンコイ (北海道・東北地方)

ムゾラシカ (熊本県など)

メゴイ (東北地方)

チュラカーギー (沖縄県)

ミジヨイ (新潟県など)

ガエラゴ (岩手県など)

ゲルクト (秋田県・山形県など)

カエルノコ (新潟県・滋賀県など)

オタマ (神奈川県・岐阜県など)

ギヤーン (島根県など)

ナゲ (北海道)

ヤル (熊本県など)

ホカ (京都府)

フテ (高知県)

ミジヨイ (新潟県など)

そのほかにも、地域によって呼び方や言い方のちがうものがたくさんあります。

やってみよう



いろいろな言葉を調べる



自分が住んでいる地域の方言や
家の人に聞いてみたりしましょう

ろい^{ちいき}ろな地域の方言を調べましょう。本で調べたり、



共通語

名・地域

方言



Rōmaji no hyō

		ア段 A	イ段 I	ウ段 U	エ段 E	オ段 O	(ヤ)	(ユ)	(ヨ)
ア行		a	i	u	e	o			
カ行	K	ka	ki	ku	ke	ko	kya	kyu	kyo
サ行	S	sa	shi	su	se	so	sha	shu	sho
タ行	T	ta	^(si) chi	^(tu) tsu	te	to	^(sya) cha	^(syu) chu	^(syo) cho
ナ行	N	na	^(ti) ni	^(tu) nu	ne	no	^(tya) nya	^(tyu) nyu	^(tyo) nyo
ハ行	H	ha	hi	fu	he		hva	hyu	hyo
マ行	M	ma	mi	^(hu) mu	me		mya	myu	myo
ヤ行	Y	ya		yu		y			
ラ行	R	ra	ri	ru	re	ro	rya	ryu	ryo
ワ行	W	w				(o)			
ン	N	n							
ガ行	G	ga	gi	gu	ge	go	gya	gyu	gyo
ザ行	Z	za	ji	zu	ze		ja	ju	jo
ダ行	D	da	^(zi) (ji)	du	de	do	^(zya) ja	^(zyu) ju	^(zyo) jo
バ行	B	ba		bu		bo	^(zya) bya	^(zyu) byu	^(zyo) byo
パ行	P	pa	p	pu	pe	po	pya	pyu	pyo

※ () 内は訓令式の表記です。

令和 年度版 ことばのきまり 5年

編集 「ことばのきまり」編集委員会
三河教育研究会

刊行 公益財団法人愛知教育文化振興会
〒444-0868 岡崎市明大寺町馬場東170番地1
電話 0564-51-4819

印刷 株式会社 岡田印刷

※無断で複写・複製することを禁じます。

※外部ホームページリンク先は、予告なく変更・削除されることもあります。





名前

年

組

観察